2010年度
第2四半期決算及び通期業績見通し
説明資料

星光PMC株式会社
2010年12月1日

目次

✧ 事業概要	P2
✧ 事業環境	P3
✧ 1. 2010年度 第2四半期決算	P4～8
✧ 2. 2010年度 通期業績見通し	P9～11
✧ 経営戦略	P12～15
✧ 中国での事業展開について	P16

＜予想に関する注意事項＞

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではございません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

- 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品

⇨

紙　新聞用紙
　　印刷・情報用紙
　　家庭紙 他

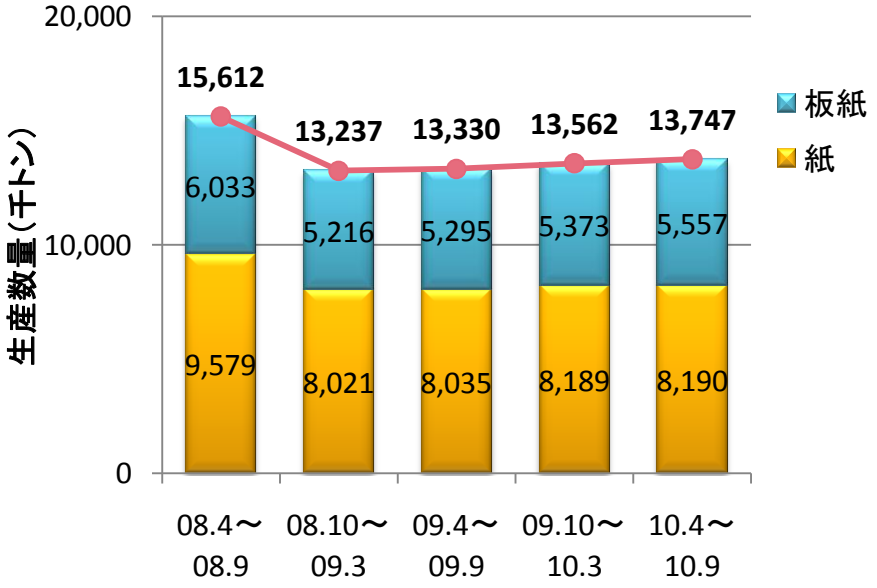
板紙　段ボール原紙
　　紙器用紙 他

- 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
- 平版インキ
- グラビアインキ
- 新聞インキ
- フレキソインキ

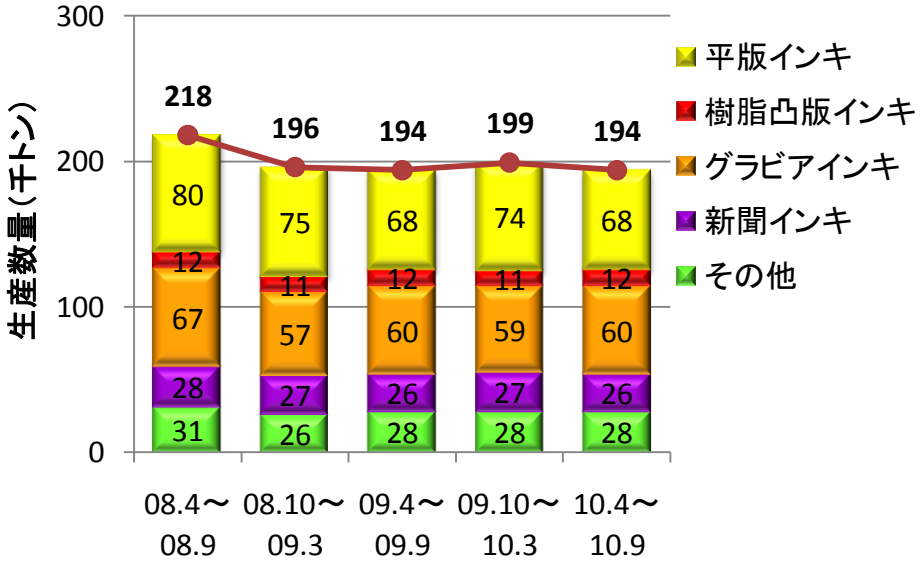
記録材料用樹脂 ⇨ トナー

▽紙・板紙生産数量（国内）



（出典：日本製紙連合会 統計資料）

▽各種印刷インキ生産量（国内）



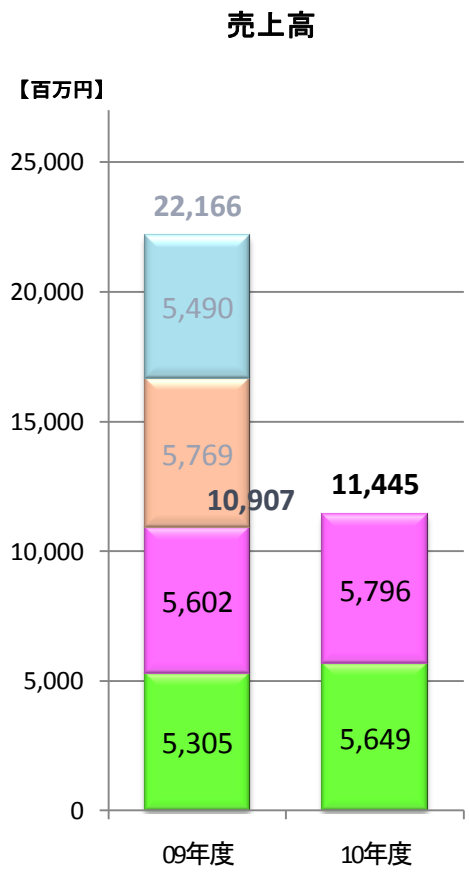
（出典：化学工業統計月報）

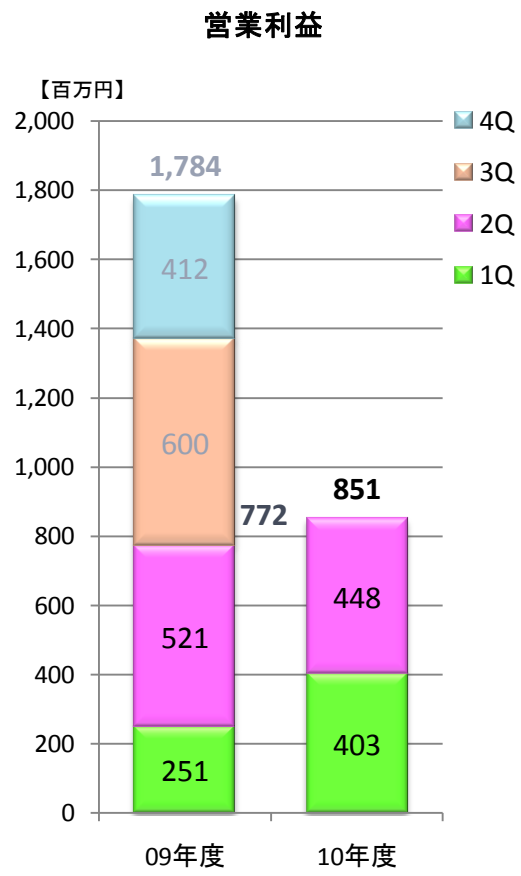
（1）決算の概況（連結）

【百万円】

	前 第2四半期（累計）	当 第2四半期（累計）	差異	増減率（%）
売上高	10,907	11,445	+538	+4.9
営業利益	772	851	+79	+10.3
営業利益率	7.1%	7.4%	0.3%	-
経常利益	793	866	+73	+9.1
経常利益率	7.3%	7.6%	0.3%	-
当期純利益	528	506	-22	-4.3

・売上高：製紙用薬品・樹脂事業とも増収に
・営業利益：原料価格高騰と人件費増加を吸収して増益に

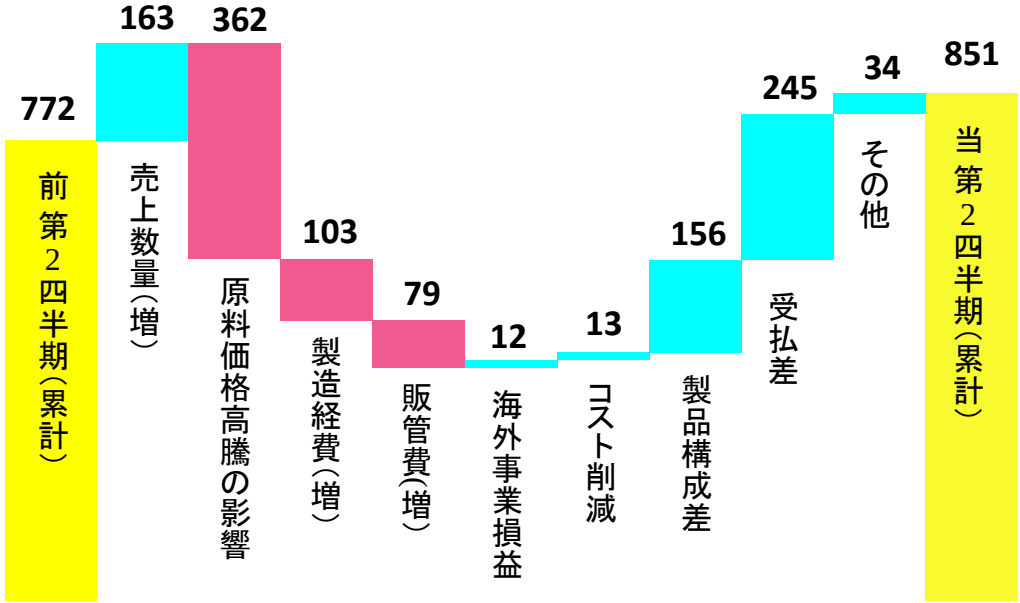




（2）営業利益増減内訳

前 第2四半期（累計）→当 第2四半期（累計）

772 → 851百万円（+79百万円　+10.3%）



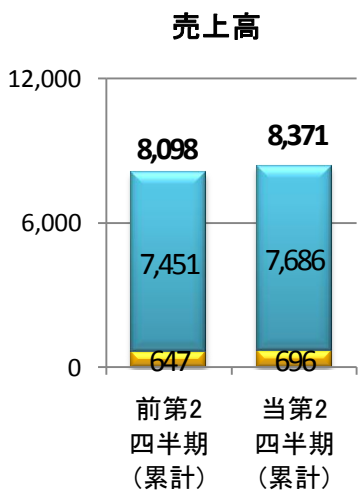
・原料価格高騰による影響＝-362百万円
・人件費の増加＝-116百万円（製造経費＋販管費）
・重油価格上昇による燃料費アップ＝-31百万円

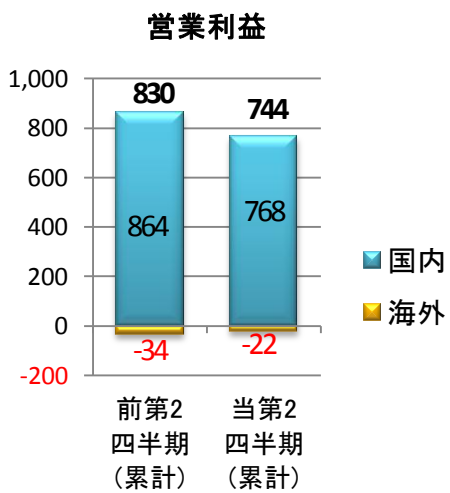
（3）セグメント別 売上高・営業利益比較（対 前期）

【百万円】

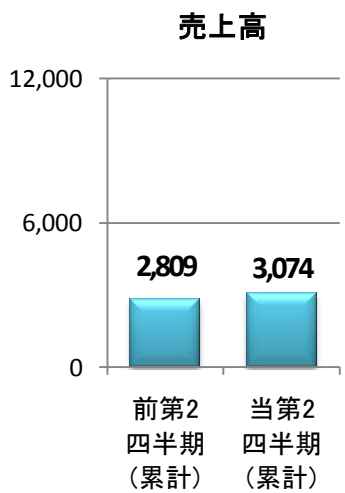
		売上高				営業利益			
		前 第2四半期（累計）	当 第2四半期（累計）	差異	増減率	前 第2四半期（累計）	当 第2四半期（累計）	差異	増減率
製紙用薬品									
	国内	7,451	7,686	+235	+3.2%	864	768	-96	-11.1%
	海外	647	696	+49	+7.6%	-34	-22	+12	-
	連結調整	-	-11	-11	-	-	-2	-2	-
	計	8,098	8,371	+273	+3.4%	830	744	-86	-10.4%
樹脂		2,809	3,074	+265	+9.4%	-58	107	+165	-
合計		10,907	11,445	+538	+4.9%	772	851	+79	+10.3%

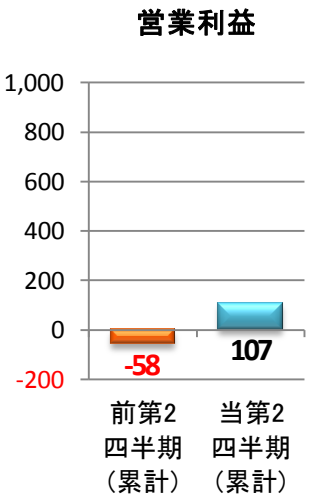
▽製紙用薬品事業





▽樹脂事業





▽連結損益計算書

【百万円】

	前第2四半期（累計）		当第2四半期（累計）		差異
売上高	10,907	100.0%	11,446	100.0%	+539
売上原価	8,288	76.0%	8,681	76.0%	+393
売上総利益	2,619	24.0%	2,764	24.0%	+145
販管費	1,847	16.9%	1,913	16.9%	+66
営業利益	772	7.1%	851	7.1%	+79
営業外損益	22	0.2%	15	0.2%	-7
経常利益	793	7.3%	866	7.3%	+73
特別損益	-5	-0.1%	-43	-0.1%	-38
税引前利益	788	7.2%	823	7.2%	+35
法人税等	260	2.4%	317	2.4%	+57
当期純利益	528	4.8%	506	4.8%	-22

▽主な経費項目

【百万円】

	前第2四半期（累計）	当第2四半期（累計）	差異
人件費合計額	2,176	2,302	+126
減価償却費合計額	565	583	+18
設備投資額	201	271	+70
研究開発費 *対売上高比率*	734 6.7%	759 6.6%	+25

▽連結貸借対照表

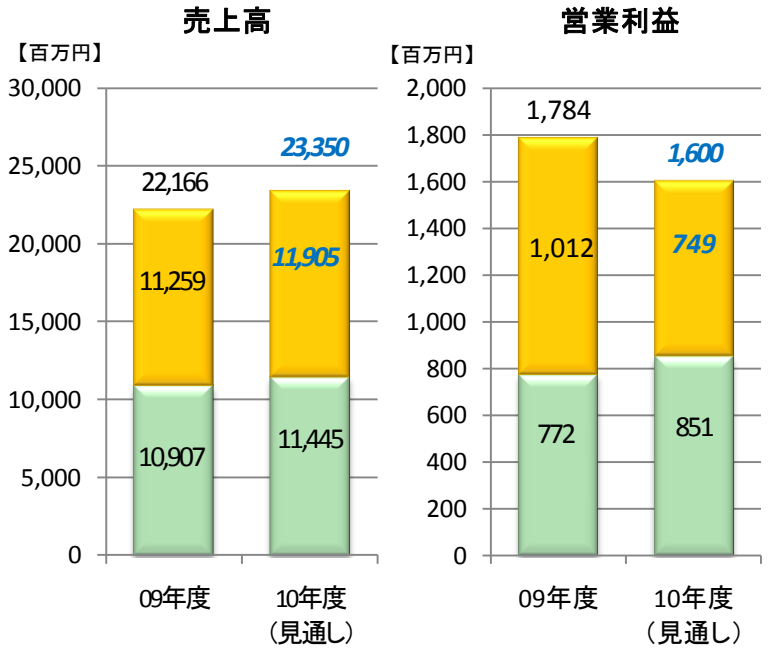
【百万円】

	前期末	当第2四半期末	差異		前期末	当第2四半期末	差異
流動資産	14,023	14,518	+495	流動負債	6,353	6,255	-98
現金及び預金	456	612	+156	仕入債務	3,286	3,648	+362
売上債権	7,947	8,773	+826	短期借入金	1,100	1,100	0
棚卸資産	2,754	2,741	-13	その他	1,967	1,507	-460
その他	2,866	2,392	-474				
固定資産	11,712	11,299	-413	固定負債	597	602	+5
有形固定資産	10,340	10,008	-332	長期借入金	-	-	-
無形固定資産	185	182	-3	退職給付引当金他	597	602	+5
投資その他の資産	1,187	1,109	-78	負債合計	6,950	6,857	-93
				資本金	2,000	2,000	0
				資本剰余金	1,566	1,566	0
				利益剰余金	15,247	15,571	+324
				自己株式	-104	-104	0
				評価換算差額等	+76	-73	-149
				純資産合計	18,785	18,960	+175
資産合計	25,735	25,817	+82	負債･純資産合計	25,735	25,817	+82
				自己資本比率	73.0%	73.4%	+0.4%

（1）通期業績見通し

【百万円】

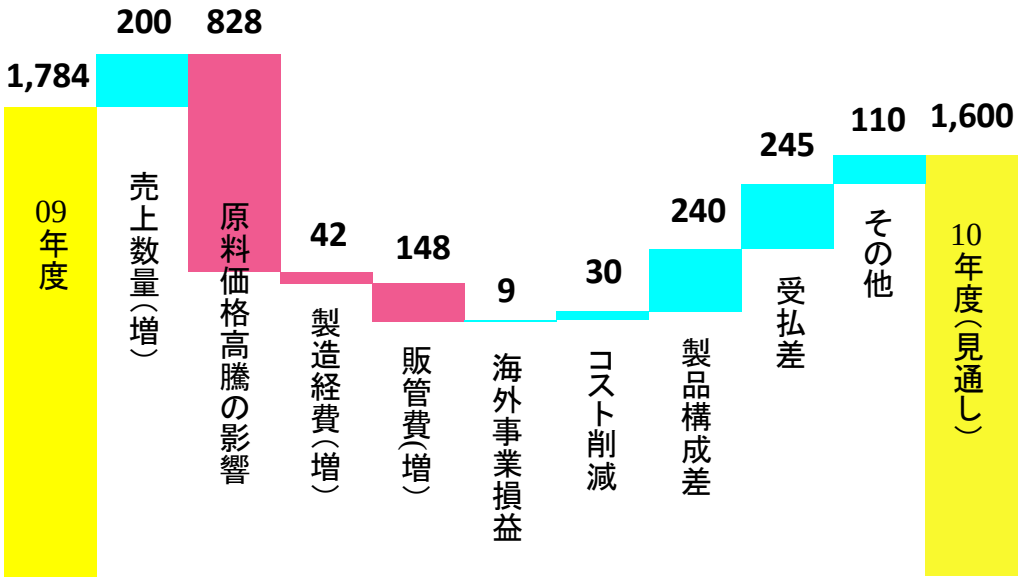
	09年度	10年度（見通し）	差異	10年年度（前回見通し）	差異
売上高	22,166	23,350	+1,184	23,860	-510
営業利益	1,784	1,600	-184	1,600	0
<営業利益率>	8.0%	6.9%	-1.1%	6.7%	+0.2%
経常利益	1,829	1,650	-179	1,650	0
<経常利益率>	8.3%	7.1%	-1.2%	6.9%	+0.2%
当期純利益	1,190	1,030	-160	1,030	0
ROE	6.3%	5.4%	-0.9%	5.4%	0.0%
設備投資額	687	1,360	+673	1,360	0
減価償却費	1,210	1,297	+87	1,297	0
EBITDA	2,994	2,897	-97	2,897	0
配当（円/株）	11.0	11.0	0	11.0	0



（2）営業利益増減内訳

09年度 → 10年度（見通し）

1,784 → 1,600百万円（-184百万円　-10.3%）



・原料価格高騰の影響 = -828百万円
・販売製品構成の高収益率化による利益改善 = +240百万円

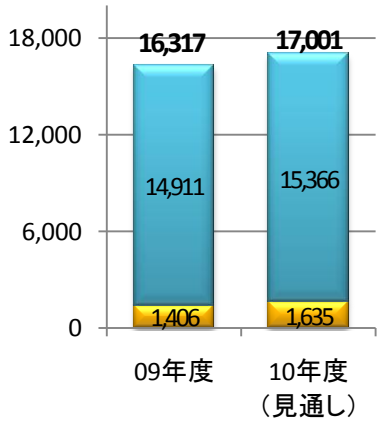
(3)セグメント別 業績見通し

【百万円】

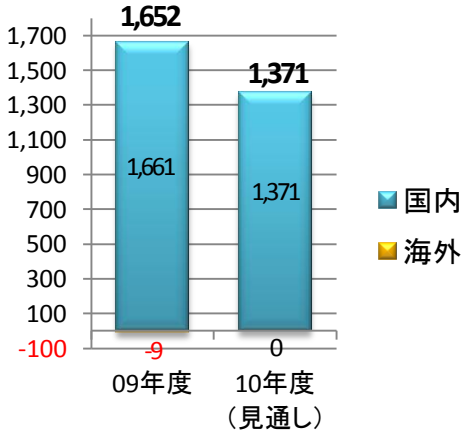
		売上高				営業利益			
		09年度	10年度（見通し）	差異	増減率	09年度	10年度（見通し）	差異	増減率
製紙用薬品									
	国内	14,911	15,366	+455	+3.1%	1,661	1,371	-290	-17.5%
	海外	1,406	1,635	+229	+16.3%	-9	0	+9	-
	計	16,317	17,001	+684	+4.2%	1,652	1,371	-281	-17.0%
樹脂		5,849	6,349	+500	+8.5%	132	229	+97	+73.5%
合計		22,166	23,350	+1,184	+5.3%	1,784	1,600	-184	-10.3%

▽製紙用薬品事業

売上高

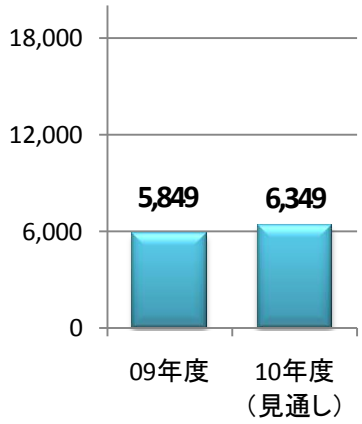


営業利益

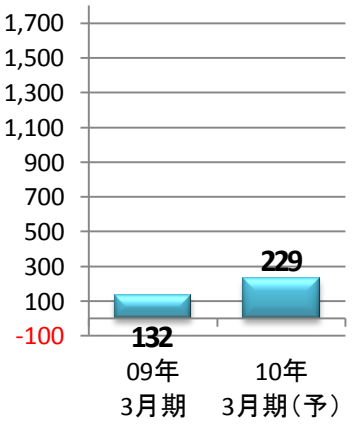


▽樹脂事業

売上高



営業利益



（1）製紙用薬品事業

技術力でアジアナンバーワンの製紙用薬品会社を目指す

- 紙力増強剤・サイズ剤などの主力製品の高性能化、新規ニーズに対応した高機能製品の開発
- 板紙アルカリ抄紙に代表される新規薬品システムの提案
- 中国市場での製紙用薬品の拡販
- 排水処理用微生物製剤の独自技術サポートによる販売

（2）インキ用・記録材料用樹脂事業

環境対応・高機能化によって高収益体質に事業構造を変える

- 記録材料用高付加価値製品の開発
- 環境対応水性インキ用樹脂の応用展開
- ユーザーニーズに対応するオフセットインキ用樹脂の開発と生産の合理化

（3）新規事業

開発テーマの選定→事業化

- 当社コア技術を応用した製品開発
  - ➢導電性樹脂
  - ➢エレクトロニクス用感光性樹脂
  - ➢自動車塗装用新規コーティング剤
- バイオナノファイバー素材への当社技術の展開

（4）

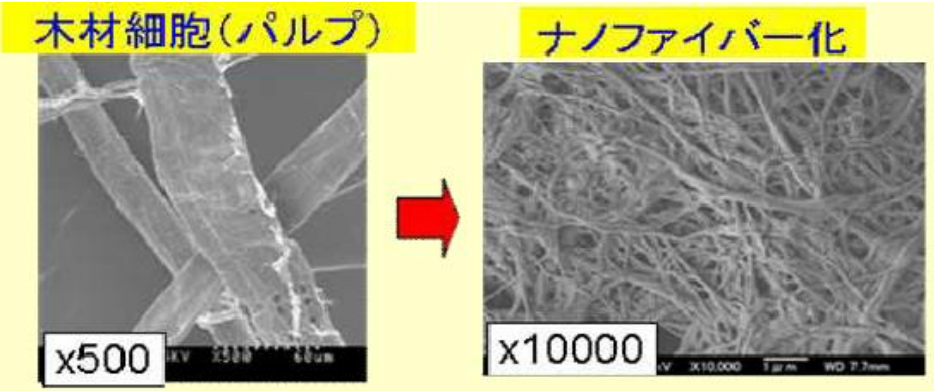
生産性向上・合理化によるコストダウン

NEDO・大学発事業創出プロジェクト（2007年10月～2010年3月）

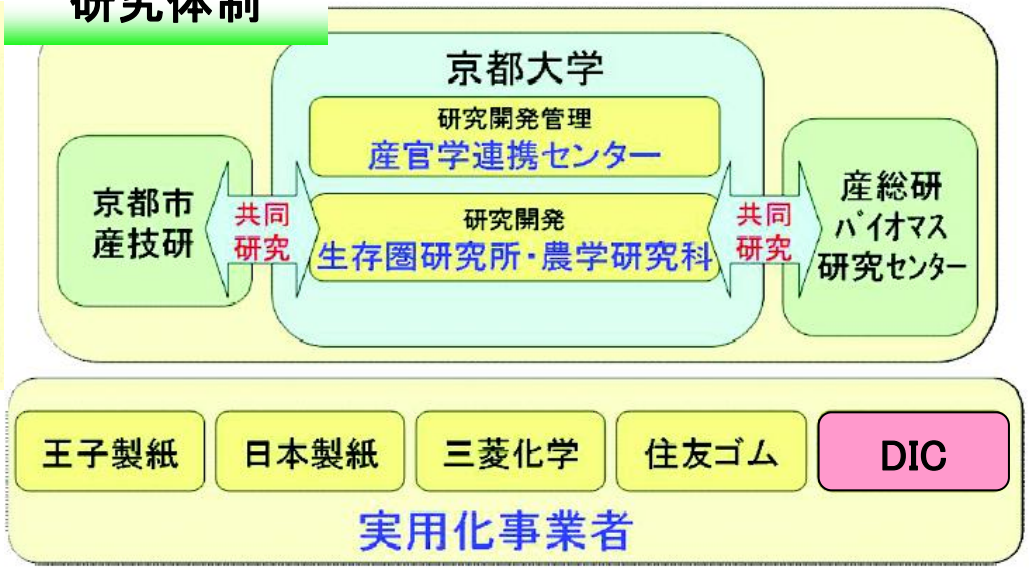
「変性バイオナノファイバーの製造および複合化技術開発」

目的

バイオナノファイバー（ＢＮＦ）に関する京都大学シーズ技術を用い、PP樹脂、ゴムおよび不飽和ポリエステル樹脂との複合化に優れた変性ＢＮＦの製造ならびにその複合化技術の実用化研究開発を行う。



研究体制



BNFの特徴

BNFは全ての植物の基本骨格物質で、軽量・高強度・低熱膨張との特徴を持っています。
（鋼鉄の１／５の軽さで鋼鉄並みの強度を有する環境対応型材料 を実現しています。）

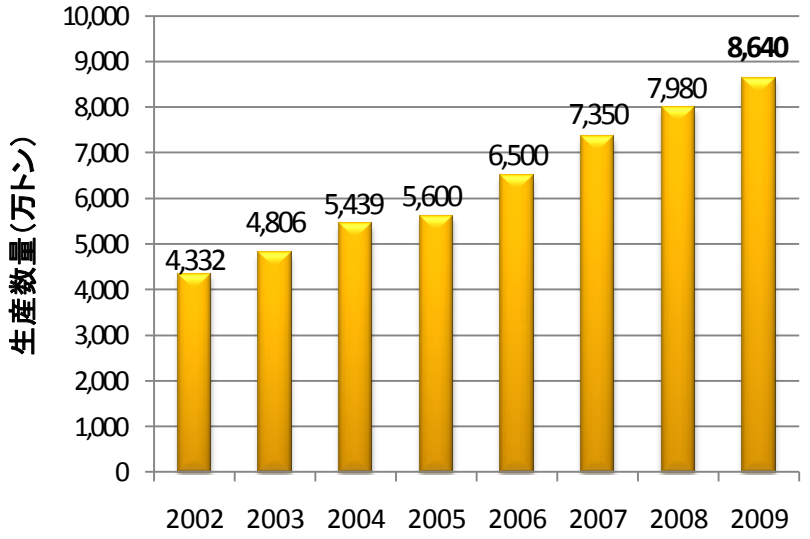
中国の紙生産数量は、2009年で86百万トンと日本の26百万トンを大きく上回り、
世界第2位の米国（71百万トン）を大きく引き離した。

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっており、日本の王子製紙も
2010年秋に本格稼働予定である。

当社の中国事業
1．現地生産会社：
　星光精細化工（張家港）有限公司
　・2006年5月生産開始
　（1）資本金：1，450万USドル（当社100%出資）
　（2）場所：江蘇省張家港市
　　面積：約4万㎡
　（3）生産品目：製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他
　　生産能力：約3万トン/年
　　（2011年初に4.5万トン/年に能力増予定）

2：現地販売会社：
　星悦精細化工商貿（上海）有限公司
　・2006年3月設立
　（1）資本金：450万USドル（当社100%出資）
　（2）場所：上海市
　（3）2010年度の販売目標16億円

中国の紙・板紙生産量推移



（出典：中国造紙協会）